

「大切な命を守るために」

宮崎県 国富町立本庄小学校 6年 ^{おおの}大野 ^{りょうた}僚太

ぼくは、最近よくニュースで自然災害のことについて報道されています。特にニュースを聞いていると豪雨災害・土砂災害のことをこの時期はよく耳にします。そこでぼくは、人事ではないと思いい、土砂災害防止対策について考えてみることにしました。

例えば、土砂災害とは、主に大雨によって山やがけがくずれ土や石、雨水などがまざり土石流となって流れてくる事などが土砂災害です。もし山やがけの近くに住んでいると、大雨の時に土砂災害にまきこまれる可能性が高く、土砂災害にまきこまれると、家がくずれたり、土砂が流れてきたりすごく大きな被害を受けると思います。なので、テレビやラジオで「大雨がふる」と報じた場合、「土砂災害が起こるかもしれない」と警戒しておくべきです。そして、いつでもにげれるように準備しておき、もし大雨警報や土砂災害警戒情報が発令されたらすぐにでも安全な所へひなんしたほうがいいです。そうすると少しでも命が助かる可能性が上がると思います。しかし、「自分は大丈夫」・「ちょっと大げさ」など思うかもしれませんが、警戒するにこしたことは、ありません。それにもし土石流にのみこまれてしまったら、上や下ではなく横ににげることを意識してください。なぜなら、土石流は上から下へと流れていきます。横ににげると、すくないきよりを移動してぬけだすことができるかもしれません。逆に上や下にいってしまうと意味がないので横へにげることを考えてください。しかし自分は出られても「家族がうまってしまった」や「家族がながされてしまった」などというときは、自分でなんとかしようとはせず周りの人に手伝ってもらうのが一番速く助ける方法だと思います。

そしてさっき言ったように土砂災害が起きる前にひなんしておいてほしいです。ですが「雨がふっているだけでひなんするのは大げさ」と思うかもしれませんが、ひなんすることが自分や家族の命を救うカギになります。自分はというと、家のうらが3～4mぐらいのがけになっていて、あぶないのでお母さんたちが一応地質調査をしてくずれないかを調べてくれていました。なのでくずれることは、ほぼないと思います。だからといってなにもしないわけではありません。なぜなら、ゆか下に食料を保存してくれていて、「ありがたいなあ」と思いました。そしてぼくにはなにかできなかと考えていて1つ思いうかんだのが、ひなん場所を探すことです。といってもぼくが知っているのは、本庄小学校とアリーナ国富くらいです。「もっと調べなきゃな」と思いました。

最後にもう一度言いますが「自分は大丈夫」や「ちょっと大げさ」などと考えずに、まずにげることだけ考えてほしいです。しかも災害はまだたくさんあります。地しん、台風、ふん火などまだたくさんの種類があります。なので土砂災害だけではなくほかの災害にも目を向けて、それぞれの災害に合わせた対策をしっかりと自分や自分の家族を守るようにしてほしいと願っています。